

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	滋賀県大津市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大津市文化遺産活用地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業		14,903	千円
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業		21,810	千円
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業		15,000	千円
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業		17,938	千円
平成29年度文化遺産総合活用推進事業		22,387	千円
平成30年度文化遺産総合活用推進事業		19,664	千円
6 計画の実施状況（概要）			
※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>●平成25年度、26年度「地域の文化遺産次世代継承事業」</p> <p>1. 平成25年度（「里坊」の魅力を活かした比叡山坂本地区の活性化事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、人材育成事業 里坊に関するホームページを制作し、その歴史や庭園の魅力を紹介。併せて、比叡山延暦寺、日吉大社、西教寺などの文化遺産と延暦寺の、門前町としての坂本を紹介。里坊を切口としたパンフレット制作、ボランティアガイドの養成にも着手。 ・普及啓発事業 比叡山坂本いきいき文化フェスティバル（里坊特別拝観、文化芸能ステージ、茶会、ボランティアガイドの案内）を開催。 ・記録作成・調査研究事業 全64里坊にアンケート及びヒアリングを実施し、里坊の魅力と公開の可能性などについて検討。 <p>2. 平成26年度（「里坊のある門前町」の魅力を活かした比叡山坂本地区の活性化事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化遺産情報発信、人材育成事業 「里坊のある門前町」を紹介するDVDを制作し、地元小中学生の教材や、来訪者への発信として、文化財や宿泊施設で放映。併せて、前年に引き続きボランティアガイドの養成を継続。特に、中学生をガイドとして養成することで、地元への愛着と、次世代への継承をはかった。 ・地域の文化遺産普及啓発事業 比叡山坂本いきいき文化フェスティバル（里坊特別拝観、文化芸能ステージ、茶会、「山王祭」ブース展、町中回遊イベント）を開催。京都・滋賀県内の大学生によりモニターツアーを実施。 <p>●平成27年度、28年度「世界文化遺産活性化事業」</p> <p>1. 世界文化遺産情報発信・人材育成事業（平成27年度～28年度） 平成27年度は、『世界文化遺産「比叡山延暦寺」と門前町坂本』のホームページを開設。外国語版のパンフレット及びDVDを作成し、配布。ボランティアガイドの養成は新規メンバーを加えた。 平成28年度には、音声コードが標記されたメタル板を既存の看板に添付し、多言語（英語・中国語・韓国語）の情報を提供。また、平成27年度に引き続き、観光ボランティアの養成に努め、さらに、訪日外国人への情報発信として、関西国際空港・大阪・京都の外国人向けインフォメーションセンターにおいて、平成27年度作成の外国人向けパンフレットを配布。</p> <p>2. 世界文化遺産普及啓発事業（平成27年度～28年度） 平成27年度は、滋賀県への外国人来訪者で首位の台湾・香港の人気ブロガー10人を招いて、比叡山延暦寺と比叡山坂本地区一帯のモニターツアーを実施。 平成28年度は、東京で「比叡山延暦寺」フォーラム、延暦寺で3回の連続セミナーを開催。</p> <p>●平成29年度「世界文化遺産活性化事業」</p> <p>1. 世界文化遺産情報発信事業 映像資料・パンフレットを作成。また、訪日外国人向けのインフォメーションセンターにて、PRを実施。平成27年度制作外国語版DVDを、WEBページにて情報発信。</p> <p>2. 世界文化遺産人材育成事業 中・高校生を対象とした観光ボランティアガイドの養成。</p> <p>3. 世界文化遺産普及啓発事業 比叡山延暦寺の門前町坂本において、世界文化遺産比叡山延暦寺への誘い展「聖なる時を旅する」を実施。</p> <p>●平成30年度「世界文化遺産活性化事業」</p> <p>1. 世界文化遺産情報発信事業 パンフレット・外国人向け映像資料を作成。平成27・30年度に制作した外国語版DVDを、WEBページにて情報発信。</p> <p>2. 世界文化遺産人材育成事業 中・高校生を対象とした観光ボランティアガイドの養成。</p> <p>3. 世界文化遺産普及啓発事業 比叡山延暦寺の門前町坂本において、世界文化遺産比叡山延暦寺への誘い展を実施。</p>			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況

※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。

別紙①②のとおり

8 事業実施による効果等

※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。

- ・補助事業として実施を進めていくために、「比叡山坂本活性化事業実行委員会」が結成され、毎月1回の定例会の場で、事業の進捗と併せて地域振興へ向けて、様々な議論がかわされている。
- ・事業の成果は比叡山坂本活性化実行委員会のホームページ「比叡山坂本サンポ」を通して公開されており、映像資料の公開は当初目標とした1,000回再生を大きく上回り、成果指標を20,000回に修正したが、87,507回（平成30年度）となり、広く情報発信がなされていることがわかる。
- ・平成25年度から実施しているボランティアガイド養成事業において結成された「比叡山坂本観光ボランティアの会 石積み」では、平成30年に観光客4,702名のガイドを実施している。また、本事業における養成講座を修了した中高生ガイド9名が活躍し、次世代への継承も行なわれている。

9 得られた効果の検証・分析

地域の文化資源を活用した集客・交流という点において、延暦寺の所在する雄琴・坂本地区への観光客の入り込み数（大津市集計データ）が平成26年の3,145,000人から平成29年3,257,000人と3%増となっている。このうち、外国人宿泊者数（大津市集計データ）は、平成27年35,200人から平成29年56,474人と60%増となり、確実に効果が現れている。

事業終了後もボランティアガイドは継続的に実施し、ホームページ「比叡山坂本サンポ」にて公開している映像資料等についても、継続的に発信することで、延暦寺・坂本への観光客の増加を見込み、大津市全体の観光客増につなげていく。

10 総括評価結果

※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	延暦寺の所在する雄琴・坂本地区への観光客の入りこみ数				関連事業:	事業①～⑥	
目標値 1 :	平成 26 年度		3,145 千人		⇒	平成 33 年度 3,413 千人	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
3,257 千人	集計中 千人	千人	千人	千人	千人		千人
42%							

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	「世界文化遺産 比叡山延暦寺」映像資料作成事業					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	世界遺産「古都京都の文化財」と「比叡山延暦寺」を紹介し、世界文化遺産の活性化と理解に繋げることを目的に映像資料を作成。										
具体的な指標：	比叡山坂本活性化事業実行委員会のホームページ「比叡山坂本サンポ」での再生回数										
目標値：	平成 28 年度		0 回		⇒	平成 33 年度		20,000 回			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1,830 回	87,507 回	回	回	回	回						
9%	438%										
事業②：	「世界文化遺産 比叡山延暦寺」パンフレット製作業務					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	総合的な広報パンフレットを作成し、「古都京都の文化財」の紹介と構成文化財のひとつである比叡山延暦寺の理解を深めるとともに、世界文化遺産の活性化につなげる。										
具体的な指標：	巻末に掲載内容に関するアンケートを回収して、「たいへんよい」「よい」「ふつう」「あまりよくない」「まったくよくない」の5択で、「たいへんよい」「よい」の回答の累計。あわせて世界遺産の価値が伝わったかどうかについてのヒアリングを実施し、効果検証を行なう。										
目標値：	平成 28 年度		0 件		⇒	平成 33 年度		1,000 件			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
2 件	46 件	件	件	件	件						
0%	5%										
事業③：	訪日外国人への情報発信事業					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	訪日外国人向けのインホメーションセンターで外国語版ポスターの掲示や外国語版パンフレットを配布し、PRすることによって訪日外国人への情報発信を実施。										
具体的な指標：	坂本観光案内所の外国人問い合わせ件数										
目標値：	【現状値】平成 28 年度		838 名		⇒	【目標値】平成 33 年度		1,400 名			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
932 名	1,124 名	名	名	名	名						
17%	51%										

事業④：	外国人向け映像発信事業					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会														
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度														
事業概要：	「外国語版DVD」をホームページおよびYouTubeによって、全世界に発信。																				
具体的な指標：	比叡山坂本活性化事業実行委員会のホームページ「比叡山坂本サンボ」での再生回数																				
目標値：	平成 28 年度					0 回					⇒	平成 33 年度					2,000 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率																				
平成 29 年度	平成 30 年度			平成 31 年度			平成 32 年度			平成 33 年度			平成 34 年度								
432 回	1,399 回			回			回			回			回								
22%	70%																				
事業⑤：	観光ボランティアガイドの養成継続事業					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会														
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度														
事業概要：	次世代への継承を目的に、中・高校生を対象とした観光ボランティアガイドの養成を行い、世界遺産「古都京都の文化財」とその一つとして登録された比叡山延暦寺、そして門前町坂本の魅力を来訪者に伝える。																				
具体的な指標：	ボランティアガイド養成講座修了者がガイドした観光客の総数																				
目標値：	平成 28 年度					1,441 名					⇒	平成 33 年度					6,000 名				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率																				
平成 29 年度	平成 30 年度			平成 31 年度			平成 32 年度			平成 33 年度			平成 34 年度								
4,372 名	4,702 名			名			名			名			名								
64%	72%																				
事業⑥：	世界文化遺産比叡山延暦寺への誘い展					実施団体：	比叡山坂本活性化事業実行委員会														
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度														
事業概要：	比叡山延暦寺の門前町坂本において、世界文化遺産「古都京都の文化財」とその一部である比叡山延暦寺の魅力を写真とコピー、映像資料で伝える。また、東京にてフォーラムを開催する。																				
具体的な指標：	延暦寺来場者数（大津市集計データ）																				
目標値：	平成 28 年度					485,400 名					⇒	平成 33 年度					550,000 名				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率																				
平成 29 年度	平成 30 年度			平成 31 年度			平成 32 年度			平成 33 年度			平成 34 年度								
529,200 名	506,400 名			名			名			名			名								
68%	33%																				